

「新東京丸」による海からの東京港視察を開催

今年度は、政府の総合海洋政策本部が中心となって関係省庁、海事団体らによる『第20回「海の日」特別行事』が実施されており、当協会も同行事の一環として、商船の見学会等各種イベントを全国各地で開催しております。

7月21日(火)および8月4日(火)には大津ひろ子東京都議会議員と日本船主協会が共同で、企画・実施した「新東京丸」によるイベントとして、東京竹芝ふ頭から東京港の視察を行いました。同港視察においては、東京都港湾局出身のガイドから港湾に隣接する施設等の説明に加え、7月21日は川崎汽船の菅野亘船長から、8月4日は日本船長協会の玉田光一船長（日本郵船より出向）から夫々停泊中の船舶や海に浮かぶ標識について説明を行うとともに、海技者としての自身の経験談等を交えた説明により、一般参加者の方々にも分かりやすく海運の役割等を認識頂く場となりました。

当協会では今後も全国各地で見学会をはじめとするイベントを実施して参ります。



▲視察船「新東京丸」



▲説明する菅野船長



▲説明する玉田船長



▲海からみたガントリークレーンと
コンテナターミナル



▲オリンピック・パラリンピック開催に
合わせ再開発が進む東京湾沿岸



▲海上から見た東京ゲートブリッジ